

高圧ガス製造施設等変更明細書（冷凍則）

1. 製造の目的（あてはまるものに○をつける。）

種類	製氷	冷蔵	冷凍	冷暖房	化学用	試験・研究	その他 ()
変更前の用途							
変更後の用途							

2. 製造設備の種類（あてはまるものを選択。）

定置式	直接膨張式	単段圧縮	往復動式	水冷式	ユニット型
移動式	間接式	多段圧縮	回転式	空冷式	非ユニット型
		単元冷凍	遠心式	蒸発式	
		多元冷凍	スクリー式		
		ヒートポンプ			

3. 変更の内容

（例）設備の老朽化に伴い、圧縮機および配管ならびに安全弁を更新する。

圧縮機については、現状の機器とは別機器に交換予定ため、冷凍能力に変更あり。

4. 冷凍能力

（1）冷凍能力

設備名・ガス種	変更前（t／日）	増減（t／日）	変更後（t／日）
（例）NO. 2 冷凍機・フロン R32	55	+10	65
合 計			

（次ページに続く。）

(2) 冷凍能力が増加する変更の場合にあつては、冷凍能力の計算を以下に示す。

(例) 単段圧縮機の1時間にピストンあたりの押しのけ量 $V = 420 \text{ m}^3/\text{h}$ ※

冷媒の種類：アンモニア $C = 8.4$ ※

※冷凍能力の算出にあつては、冷凍保安規則第5条によること。

冷凍能力 $R = V/C = 420 / 8.4 = 50 \text{ t/日}$

5. 変更の工事に関する事項

(1) 完成予定年月日： 年 月 日

(2) 連絡担当者

所属		氏名		電話	
----	--	----	--	----	--

6. 省令で定める技術上の基準とそれに対応する事項（添付資料等にまとめること）

7. その他 特記事項※

※機器の一部が移設品である場合や認定指定設備の一部を変更するといった特段の事項があれば記載すること。

(例) 変更する圧縮機は〇〇会社△△事業所より移設する機器である。

当該機器の使用の経歴や保管状態の記録（開放検査記録 等）は別紙のとおり。